



環境にも健康にも大切な サステイナビリティ



黒川 貞生
教授

明治学院共通科目
横浜キャンパス

サステイナビリティ学 1・2

生理学とバイオメカニクスの研究者である黒川教授(教養教育センター)は、環境と生命・健康に着目した「サステイナビリティ学・二」の授業を行っています。温暖化や環境破壊が進めば、学生が高齢者となる五〇年後に地球はどうなっているかわかりません。温暖化、プラスチックによる海洋汚染、環境ホルモン、農薬など地球の環境を阻害する要因に、履修学生は強い関心を持っています。

また、人間は一般的に加齢に伴い体力・健康が低下します。しかし、身体運動を含めた適切な生活習慣を実践することにより、体力や健康度の低下スピードを緩やかにすることが可能です。

地球環境にも自身の健康にも大切なのは、今できることに気づき、持続可能な行動をとること。入学後すぐ、多くの学生が履修する明治学院共通科目の授業として、SDGsの大切さを伝えていきます。



私にとってのSDGsと授業



自然と調和するために考える

栗田菜々美(芸術2年)

授業を通して地球環境の変化や現在の環境問題について学ぶ中で、人間と自然とが調和するこの美しい地球を守るために、私たちに何ができるかを多面的に考えています。

経営学・法学的 観点からSDGsを 形骸化させないためには

法と経営学研究科 白金キャンパス

企業と社会(CSR)

※CSR=企業の社会的責任



河村 寛治
名誉教授



神田 良
教授

経営学の専門家、神田教授と法学の専門家、河村名誉教授による授業です。SDGsを含むCSRに関する課題について、院生がプレゼンテーションを行い、全員で議論します。「SDGsを企業がどう受け止めているか」についての発表では、「企業がSDGsの目標についてPDCAを行えるよう、マネジメントシステムに組み込むことが大切である」との提言がなされました。SDGsを形骸化させず企業内でシステム化することは社内の意識改革、ステークホルダーからの評価、競争企業へのアピール、事業の継続性につながるなどの高い評価でした。

授業では、「誰一人取り残さない」について、「誰一人取り残さない」

私にとってのSDGsと授業



発表からSDGsの新たな視点を獲得

チン シン
(法と経営学研究科1年)

経営専門の神田先生と法律専門の河村先生の解説で学んでいます。自分が発表した「独自のアイデアでSDGsに取り組む5企業」と少人数での意見交換から、SDGsの新たな視点が得られました。



国際センター

オンラインSDGsプログラム

春休み期間中に、オンラインで体感できるSDGsプログラムを開催予定です。海外の方との交流により、一層SDGsの知識を深められるような機会を企画。詳細は別途ポートページでお知らせします。

ボランティアセンター

「1Day」「ボラカフェ」でSDGsを体験!

1日ボランティア体験「1 Day for Others」では、講座&ワークショップ「SDGsから学ぶボルネオ島の環境問題」などを実施。月1回の「ボラカフェ」では、「SDGsカフェ」を一緒に企画するメンバーを募集中!

ほかにもさまざまな取り組みが!

明学でSDGsに触れてみよう

今回紹介した授業以外にもSDGsを学ぶ機会があります。